



下水道について

那覇市の下水道

右の写真は、昭和 35 年頃と現在の久茂地公民館近くの久茂地川を写したものです。

戦後、那覇市では急激に人口が増加し始め、昭和 35 年頃の川は、ゴミが捨てられたり、生活排水(台所、お風呂、トイレなどからの汚れた水)がそのまま流されたりしたため、川や海がどんどん汚れていきました。

この不衛生な環境を改善するため、那覇市では昭和 40 年から下水道の整備を進めてきました。昭和 44 年 7 月、沖縄県が作った那覇下水処理場(現那覇浄化センター)が使用開始したのと同時に、那覇市の下水道も開始しました。

下水道が整備されると、家庭から出る生活排水は下水道管を通して那覇浄化センターに集められ、きれいな水に処理してから海に放流します。

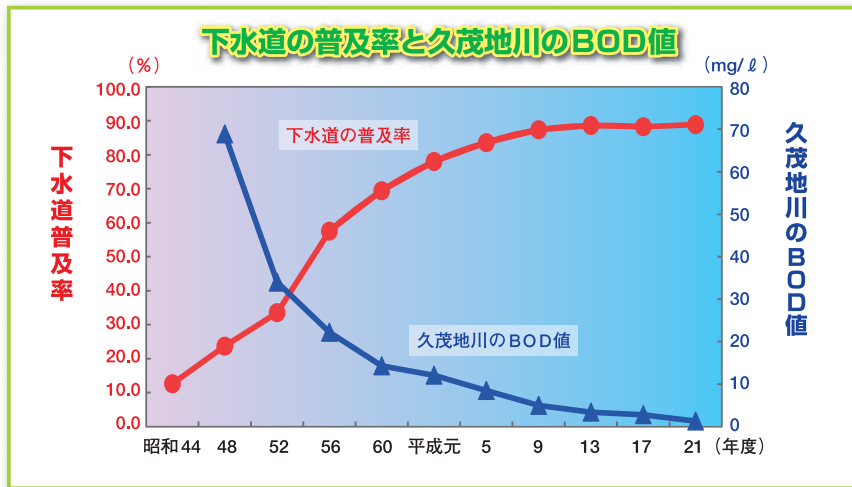
下のグラフでは、下水道の普及率と久茂地川の水質データ(BOD 値)を表しています。下水道の普及率が上がるにつれ、川の水質がよくなっていく様子がわかります。



昭和35年頃



現在



※久茂地川のBOD値は、「那覇市の環境」久美橋地点での測定結果より引用。

BOD(生物化学的酸素要求量)

水中の好気性微生物の増殖や呼吸によって消費される酸素量のこと。BODの数値が大きくなるほど水が汚濁していることを表します。

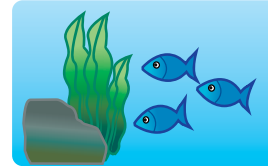


下水道の役割

下水道には、次の役割があります。

川や海がきれいになります

汚水が川や海に直接流れ込まなくなり、豊かな自然が守られます。



街がきれいになり生活環境がよくなります

汚れた溝や水たまりがなくなりハエや蚊などが発生しにくい快適な生活環境が生まれます。



水洗トイレが使えるようになります

くみ取便所等が、きれいで衛生的な水洗トイレに変わり、いやな臭いなくなります。



下水道につなぐ

公共下水道工事が完成して供用開始の公示(公共下水道が使用できるようになったというお知らせ)がなされると、その区域に建築物をお持ちの方は、公共下水道につなぐ「**排水設備工事**」を速やかに行っていただくことになります。

供用開始の公示については、公共下水道工事完成後、那覇市公報にてお知らせします。お持ちの建物が供用開始されている区域かわからない場合は、下水道課までお問い合わせください。

また、排水設備工事を行う際は必ず**那覇市排水設備指定工事店**へ工事を依頼してください。工事費については、施工条件によって異なりますので、排水設備指定工事店とご相談ください。

改造工事に対する貸付・助成制度について

那覇市上下水道局では、①くみ取便所を水洗便所に改造する工事②浄化槽を廃止して公共下水道につなぐ工事について、**条件付き**で工事資金の貸付や補助を行っています。詳しくは、料金サービス課排水設備係までお問い合わせください。

お問い合わせ

- ・供用開始区域について
 - ・排水設備工事の申請について
 - ・改造工事に対する貸付・助成制度について
- 下水道課(☎941-7808)
料金サービス課 排水設備係(☎941-7810)

下水道マンホールのおはなし

市内の道路を歩くと、魚をデザインした下水道のマンホールを見かけると思います。これは昭和 52 年に「下水道によりきれいになった水の中で魚たちが喜び群れ遊ぶ様」をイメージして当時の市の職員が考えたデザインです。

下水道により川の水質がよくなり、川で魚たちが泳ぐ姿が見られるようになりました。下水道は街全体の浄化と自然環境の保全に役立っています。

